

## 被災時に備えたマスクの備蓄に関するお願い

2022年3月

戸田市薬剤師会 危機管理（災害対策）委員会

戸田市薬剤師会では大規模被災が起きた場合に備えた組織的な取り組みの一つとして、会員薬局によるマスクの備蓄を開始いたします。

薬剤師会全体で300箱（補助額15万円）の在庫を目安に未曾有の災害の備えていきたいと考えておりますのでご協力をお願いいたします。

つきましては、各施設において応需可能な備蓄箱数を事前に確認させていただきたいと思っております。お忙しいところ申し訳ありませんが、2022年4月10日までに備蓄可能な箱数の上限を危機管理委員会までご報告していただきますようお願いいたします

報告先：危機管理委員会 委員長 野口 昌也

mail ([hitsuji-do@estate.ocn.ne.jp](mailto:hitsuji-do@estate.ocn.ne.jp))

締切：2022年4月10日

(マスク備蓄に関するスケジュール)

2022年4月 各施設の応需可能な箱数の確認

2022年5月 危機管理委員会により割り当て箱数の決定

2022年6月 各施設と薬剤師会の間において覚書書の取り合わせ  
備蓄に相当する補助金の支給

2022年7月 備蓄開始

## 《被災時における戸田市薬剤師会の取り組み》

戸田市薬剤師会では、2022年（令和4年）7月1日より、会員薬局の協力のもとに、被災時に不足すると考えられるマスクのローリングストック法（※）による備蓄を開始いたします。割り当てを了承していただいた施設は下記の内容をご確認の上、マスクの在庫管理にご協力ください。

### ※ローリングストック法（ランニングストック）

日常の買い置きを意図的に少し多めに用意し、消費と購入を繰り返し、備蓄品の鮮度を保ち、いざというときにも日常生活に近い形での提供を可能にすること。日常の中に備蓄品を取り込むという考え方

### マスクの備蓄に関する流れ

#### ①マスク備蓄の開始

- ・戸田市薬剤師会にて、施設（会員薬局）ごとの備蓄するマスクの割り当て箱数を決定する  
（会全体で300箱を目安にし、事前に手上げ確認を行った数量をもとに、危機管理（災害対策）委員会にて割り当てを決定します。割り当てられた施設は戸田市薬剤師会と被災時の備蓄分担に関する覚書を交わしていただきます。）
- ・各施設において割り当て数を通常在庫に加えて備蓄する。（マスクの銘柄は不問）  
（備蓄するマスクは、1箱50枚～60枚入りを目安にいただき、仕入先、銘柄、価格、サイズなどの指定は行いません。各施設における通常の在庫品で構わないとします。）
- ・戸田市薬剤師会より、1箱あたり500円の補助金を支給する。

#### ②通常時の管理方法

- ・割り当て分を別途に備蓄するのではなく在庫数を通常より多くして確保する。
- ・先に購入したもの（古いもの）から使用し、消費した分の補充を行う。  
（店舗販売による消費も含む）
- ・消費と購入を繰り返すことで備蓄数を保ちながら、常に新しい備蓄品に入れ替わるようにする。

#### ③被災時のマスクの提供

- ・戸田市薬剤師会からの求めに応じて、事前に割り当てを約束した箱数のマスクを会員薬局より災害対策本部へ提供する。（提供するマスクは割り当て箱数であれば、銘柄やサイズなどは混在しても構いません。マスクは無償提供とさせていただきます。）
- ・対策本部に集められたマスクを行政機関や避難所などに配布する。

2022年3月

戸田市薬剤師会 危機管理（災害対策）委員会